

# 貸出(単体)

## ■貸出金残高

期末残高

(単位：百万円)

区分		平成27年3月末	平成28年3月末
国内業務部門	手形貸付	675,286	534,074
	証書貸付	35,669,028	35,801,510
	当座貸越	9,704,976	9,856,733
	割引手形	106,324	88,554
	計	46,155,615	46,280,872
国際業務部門	手形貸付	1,127,209	912,383
	証書貸付	20,845,536	21,934,123
	当座貸越	145,946	149,356
	割引手形	—	—
	計	22,118,693	22,995,862
合計	68,274,308	69,276,735	

平均残高

(単位：百万円)

区分		平成26年度	平成27年度
国内業務部門	手形貸付	739,344	616,951
	証書貸付	35,366,084	35,366,905
	当座貸越	9,090,851	9,354,814
	割引手形	101,565	87,094
	計	45,297,845	45,425,766
国際業務部門	手形貸付	1,139,269	1,033,312
	証書貸付	19,492,102	21,477,275
	当座貸越	166,013	168,621
	割引手形	—	—
	計	20,797,386	22,679,209
合計	66,095,232	68,104,976	

(注)国際業務部門の国内店外貨建取引の平均残高は、月次カレント方式により算出しております。

## ■貸出金使途別残高

(単位：百万円)

区分	平成27年3月末		平成28年3月末	
	金額	構成比	金額	構成比
設備資金	21,002,318	30.8%	20,875,436	30.1%
運転資金	47,271,990	69.2	48,401,299	69.9
合計	68,274,308	100.0	69,276,735	100.0

## ■貸出金の担保別内訳

(単位：百万円)

区分	平成27年3月末	平成28年3月末
有価証券	614,963	570,049
債権	1,096,237	1,170,056
商品	—	—
不動産	6,579,256	6,766,633
その他	1,260,709	1,278,085
計	9,551,166	9,784,824
保証	23,562,770	23,589,094
信用	35,160,371	35,902,816
合計	68,274,308	69,276,735

## ■貸出金の残存期間別残高

(単位：百万円)

区分		平成27年3月末	平成28年3月末
1年以下	貸出金	10,629,695	10,578,408
	うち変動金利		
1年超 3年以下	貸出金	10,834,296	11,434,150
	うち変動金利	8,580,386	9,138,844
3年超 5年以下	貸出金	11,700,384	11,868,263
	うち変動金利	9,349,175	9,540,806
5年超 7年以下	貸出金	5,030,127	5,333,958
	うち変動金利	4,314,552	4,392,917
7年超	貸出金	20,228,880	20,055,864
	うち変動金利	19,038,738	18,903,945
期間の定めのないもの	貸出金	9,850,923	10,006,090
	うち変動金利	9,850,923	10,006,090
合計	貸出金	68,274,308	69,276,735
	うち変動金利	—	—
合計	貸出金	68,274,308	69,276,735
	うち変動金利	—	—

(注)残存期間1年以下の貸出金については、変動金利、固定金利の区別をしておりません。

## ■貸出金の業種別構成

(単位：百万円)

区分		平成27年3月末		平成28年3月末	
		金額	構成比	金額	構成比
国内 (除く特別国際 金融取引勘定分)	製造業	5,622,478	11.4%	5,968,107	11.9%
	農業、林業、漁業及び鉱業	129,596	0.3	121,805	0.2
	建設業	713,769	1.4	711,002	1.4
	運輸、情報通信、公益事業	4,322,866	8.8	4,294,743	8.6
	卸売・小売業	4,015,619	8.1	3,949,130	7.9
	金融・保険業	7,284,507	14.8	7,042,440	14.1
	不動産業、物品賃貸業	6,524,281	13.2	7,014,185	14.0
	各種サービス業	3,634,027	7.4	3,954,330	7.9
	地方公共団体	1,070,825	2.2	1,087,248	2.2
	その他	16,028,577	32.4	15,929,369	31.8
	合計	49,346,549	100.0	50,072,362	100.0
海外及び特別国際 金融取引勘定分	政府等	52,598	0.3	164,623	0.8
	金融機関	1,557,891	8.2	1,362,414	7.1
	商工業	15,603,083	82.4	15,876,722	82.7
	その他	1,714,185	9.1	1,800,612	9.4
	合計	18,927,759	100.0	19,204,373	100.0
総合計		68,274,308	—	69,276,735	—

(注)「国内」とは国内店であり、「海外」とは海外店であります。

## ■個人・中小企業等に対する貸出金及び割合

(単位：百万円、%)

区分	平成27年3月末	平成28年3月末
総貸出金残高(A)	49,346,549	50,072,362
中小企業等貸出金残高(B)	33,498,552	33,860,723
(B)／(A)	67.9	67.6

(注)1.貸出金残高には、海外店分及び特別国際金融取引勘定分は含まれておりません。

2.中小企業等とは、資本金3億円(ただし、卸売業は1億円、小売業、サービス業は5千万円)以下の会社又は常用する従業員が300人(ただし、卸売業は100人、小売業は50人、サービス業は100人)以下の会社及び個人であります。

## ■消費者ローン残高

(単位：百万円)

区分	平成27年3月末	平成28年3月末
消費者ローン残高	14,347,459	14,148,084
住宅ローン残高	13,437,910	13,207,194
<sup>㉞</sup> 自己居住用の住宅ローン残高	10,788,338	10,598,147
その他ローン残高	909,548	940,889

(注)住宅ローン残高については、住宅ローン・アパートローンに加えフリーローンなどで資金使途が居住性のもも含めております。

## ■貸倒引当金明細表

平成26年度

(単位：百万円)

区分	当期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高	摘要
			目的使用	その他		
一般貸倒引当金	(△9,782) 322,558	231,030	—	*322,558	231,030	*洗替による取崩額
個別貸倒引当金	(△397) 159,423	162,390	9,579	*149,843	162,390	*洗替による取崩額
<sup>㉞</sup> 非居住者向け債権分	(△394) 32,106	37,099	24	*32,082	37,099	*洗替による取崩額
特定海外債権引当勘定	747	719	—	*747	719	*洗替による取崩額
計	(△10,180) 482,729	394,140	9,579	473,149	394,140	

(注)( )内は為替換算差額であります。

平成27年度

(単位：百万円)

区分	当期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高	摘要
			目的使用	その他		
一般貸倒引当金	(5,133) 225,897	221,297	—	*225,897	221,297	*洗替による取崩額
個別貸倒引当金	(763) 161,627	134,708	24,269	*137,357	134,708	*洗替による取崩額
<sup>㉞</sup> 非居住者向け債権分	(761) 36,337	39,550	12,223	*24,113	39,550	*洗替による取崩額
特定海外債権引当勘定	719	1,179	—	*719	1,179	*洗替による取崩額
計	(5,896) 388,243	357,186	24,269	363,974	357,186	

(注)( )内は為替換算差額であります。

## ■貸出金償却額

(単位：百万円)

区分	平成26年度	平成27年度
貸出金償却額	417	805

(注)直接減額を含めております。

## ■特定海外債権残高

(単位：百万円)

国別	平成27年3月末	平成28年3月末
アゼルバイジャン	—	10,631
エジプト	11,552	9,112
アルゼンチン	5	11
合計	11,557	19,755
資産の総額に対する割合	0.00%	0.01%
国数	2カ国	3カ国

## ■リスク管理債権(連結・単体)

連結

(単位：百万円)

区分	平成27年3月末	平成28年3月末
破綻先債権①	35,630	44,732
延滞債権②	710,773	547,362
3カ月以上延滞債権③	6,071	12,695
貸出条件緩和債権④	224,707	208,691
合計	977,183	813,481
部分直接償却(直接減額)実施額	307,412	249,567

単体

(単位：百万円)

区分	平成27年3月末	平成28年3月末
破綻先債権①	30,122	39,906
延滞債権②	552,933	410,020
3カ月以上延滞債権③	4,932	4,574
貸出条件緩和債権④	115,919	106,071
合計	703,907	560,573
部分直接償却(直接減額)実施額	149,442	121,686

### 各債権の定義

- ①「破綻先債権」：未収利息を収益不計上扱いとしている貸出金のうち破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者や手形交換所において取引停止処分を受けた債務者に対する貸出金
- ②「延滞債権」：未収利息を収益不計上扱いとしている貸出金のうち、破綻先債権に該当する貸出金及び債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として利息の支払いを猶予した貸出金を除いた残りの貸出金
- ③「3カ月以上延滞債権」：元本又は利息の支払いが、約定支払日の翌日を起算日として3カ月以上延滞している貸出金(除く①、②)
- ④「貸出条件緩和債権」：経済的困難に陥った債務者の再建・支援を図り、当該債権の回収を促進することなどを目的に、債務者に有利な一定の譲歩を与える約定条件の改定等を行った貸出金(除く①～③)

## ■金融再生法に基づく開示債権

(単位：百万円)

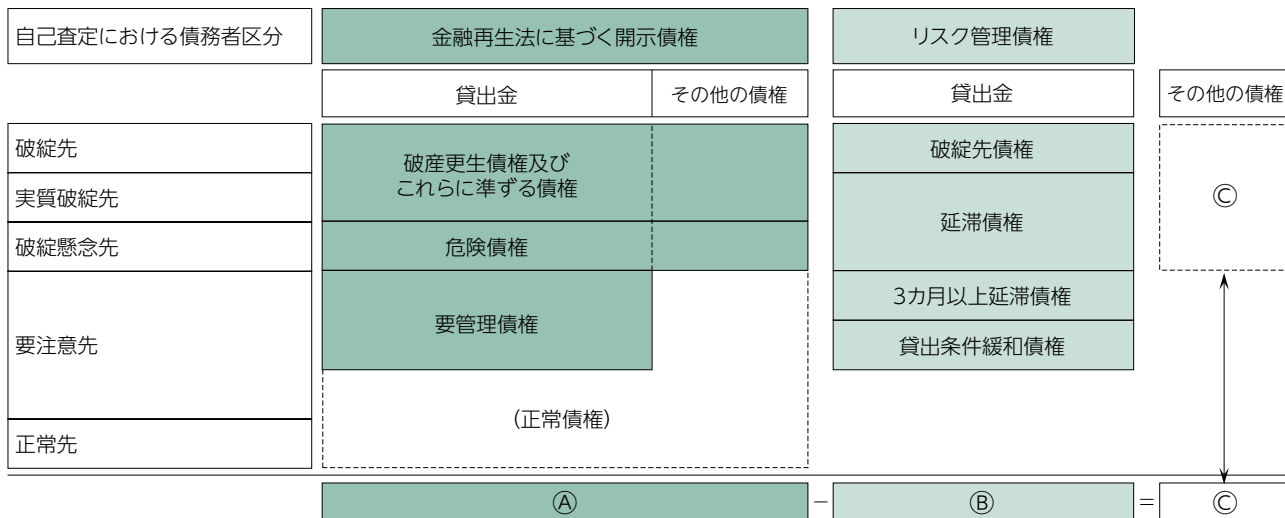
区分	平成27年3月末	平成28年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権①	92,996	135,604
危険債権②	555,150	376,366
要管理債権③	120,851	110,646
(小計)	(768,998)	(622,617)
正常債権④	78,132,366	79,046,057
合計	78,901,365	79,668,674
部分直接償却(直接減額)実施額	160,661	129,826

### 各債権の定義

本開示債権は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」(平成10年法律第132号)第7条に基づき開示するものであり、同法第6条に基づき、貸借対照表の社債(当該社債を有する金融機関がその元本の償還及び利息の支払の全部又は一部について保証しているものであって、当該社債の発行が金融商品取引法(昭和23年法律第25号)第2条第3項に規定する有価証券の私募によるものに限る)、貸出金、外国為替、その他資産中の未収利息及び仮払金並びに支払承諾見返の各勘定に計上されるもの並びに欄外に注記することとされている有価証券の貸付けを行っている場合のその有価証券(使用貸借又は賃貸借契約によるものに限る)について債務者の財政状態及び経営成績等を基礎として次のとおり区分しております。

- ①「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」：破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権
- ②「危険債権」：債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権
- ③「要管理債権」：3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権(除く①、②)
- ④「正常債権」：債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記①から③までに掲げる債権以外のものに区分される債権

## ■金融再生法に基づく開示債権とリスク管理債権の関係について



## ■自己査定、開示及び償却・引当との関係

平成28年3月末

(単位：億円)

自己査定の債務者区分	金融再生法に基づく開示債権	自己査定における分類区分				引当金残高	引当率	
		非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類			
破綻先	破産更生債権及びこれらに準ずる債権 1,356(①)	担保・保証等により回収可能部分 1,011(㉞)	全額引当 345	全額償却 (注)1	個別貸倒引当金 373 (注)2	100% (注)3		
実質破綻先								
破綻懸念先	危険債権 3,764(②)	担保・保証等により回収可能部分 2,406(㉟)	必要額を引当 1,358		971 (注)2	71.48% (注)3		
要注意先	要管理債権 1,106(③) (要管理先債権)	要管理債権中の担保・保証等による保全部分 493(㊱)			一般貸倒引当金 2,217 (注)5	40.73% (注)3	12.48% (注)3	
	正常債権 790,461	要管理先債権以外の要注意先債権				4.83% (9.76%) (注)4		
正常先		正常先債権				0.13% (注)4		
特定海外債権引当勘定						12		
不良債権比率 (A/④) 0.78%	総計 796,687(④)	貸倒引当金 計 3,572				引当率 (注)6 (⑧/⑤) 68.62%		
	A=①+②+③ 6,226	⑥個別貸倒引当金+要管理債権に対する一般貸倒引当金 1,590						
		⑦担保・保証等により回収可能部分 (㉞+㉟+㊱) 3,910	⑧左記以外 (A-C) 2,317					
		保全率 ((⑧+C)/A)				88.32%		

(注)1.部分直接償却(直接減額)実施額1,298億円を含んでおります。

2.金融再生法開示対象外のオンバランス及びオフバランス資産に対する引当が一部含まれております。

(破綻先・実質破綻先27億円、破綻懸念先48億円)

3.「破綻先」、「実質破綻先」、「破綻懸念先」、「要管理先債権」及び「要注意先債権(要管理先債権を含む)」は、担保・保証等により回収可能部分の金額を除いた残額に対する引当率を示しております。

4.「正常先債権」及び「要管理先債権以外の要注意先債権」は、債権額に対する引当率を示しております。

ただし、「要管理先債権以外の要注意先債権」について、[ ] 内に、担保・保証等により回収可能部分の金額を除いた残額に対する引当率を示しております。

5.要注意先に対する個別貸倒引当金を4億円含めております。

6.担保・保証等により回収可能部分の金額を除いた残額に対する引当率を示しております。

## ■オフバランス化<sup>(注)</sup>の実績

(単位：億円)

区分	平成26年 3月末①	平成26年度		平成27年 3月末②	増減②-①	平成27年度		平成28年 3月末③	増減③-②
		新規発生額	オフバランス化額			新規発生額	オフバランス化額		
破産更生等債権	1,143	233	△446	930	△213	407	19	1,356	426
危険債権	5,744	1,673	△1,866	5,551	△193	985	△2,772	3,764	△1,787
合計	6,887	1,906	△2,312	6,481	△406	1,392	△2,753	5,120	△1,361

(注)1.オフバランス化とは不良債権の最終処理ともいい、売却や直接償却等の手続きにより銀行のバランスシートから不良債権を落とすことであります。

2.新規発生額とオフバランス化額は、上期と下期の額を単純合算した金額であります。したがって、上期に新規発生した先で、下期にオフバランス化した額は、それぞれに計上されておりますが、その金額は平成27年度で278億円であります。